

【作り方説明書】

オフショルダーカットソーの型紙

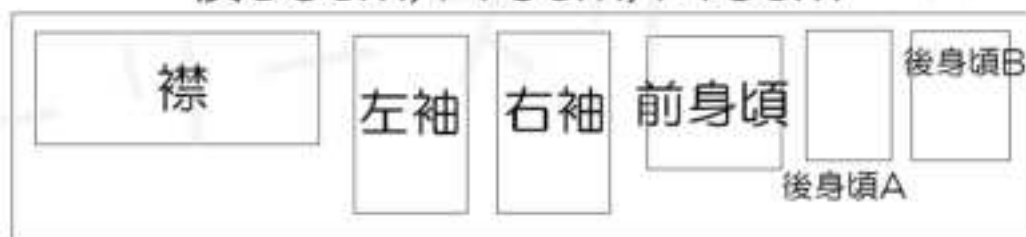
<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40cm ソフビ ・45cm ソフビ ・50cm ソフビ ・58cm ソフビ M,L,LL <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.67mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びる生地 ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>布の伸び具合によっては、L や LL は着られない場合があります。 L や LL に着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。 伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になります のでご注意ください。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①後身頃 A 1枚→そのまま1枚</p> <p>②後身頃 B 1枚→ //</p> <p>③前身頃 1枚→ //</p> <p>④襟 1枚→ //</p> <p>⑤左袖 1枚→ //</p> <p>⑥右袖 1枚→ //</p> <p>合計：6枚 のパーツで構成</p>	

■必要な布量参考数値

【オフショルダーカットソーの型紙 40cm,45cm】

横90cm,110cm,140cm

縦20cm



【オフショルダーカットソーの型紙 50cm】

横90cm

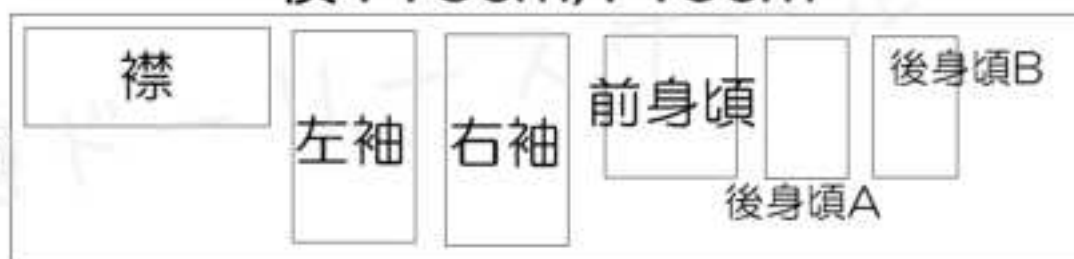
縦30cm



【オフショルダーカットソーの型紙 50cm】

横110cm, 140cm

縦25cm



【オフショルダーカットソーの型紙 58cm】

横90cm

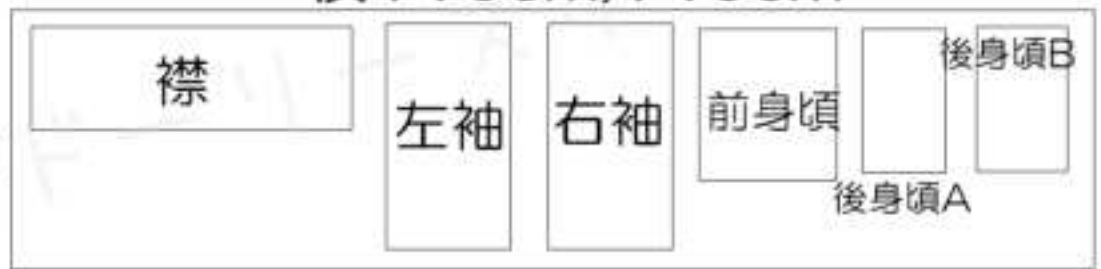
縦31cm



【オフショルダーカットソーの型紙 58cm】

横110cm, 140cm

縦26cm



01. 型紙を貼り合わせる

- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

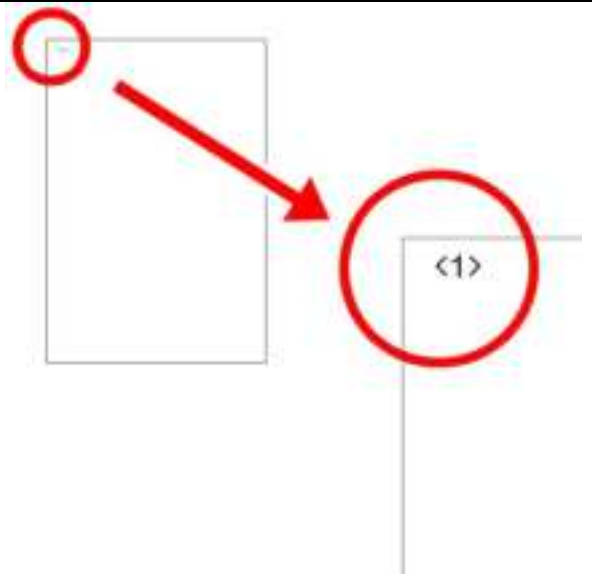
（番号は型紙の左上に記載。

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

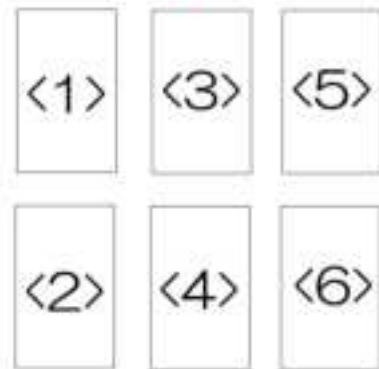
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、

数字は違います。

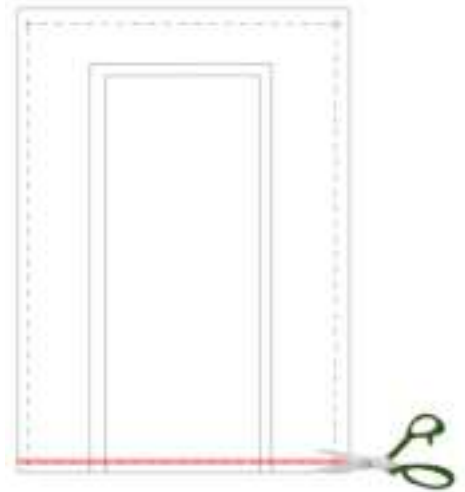
枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。



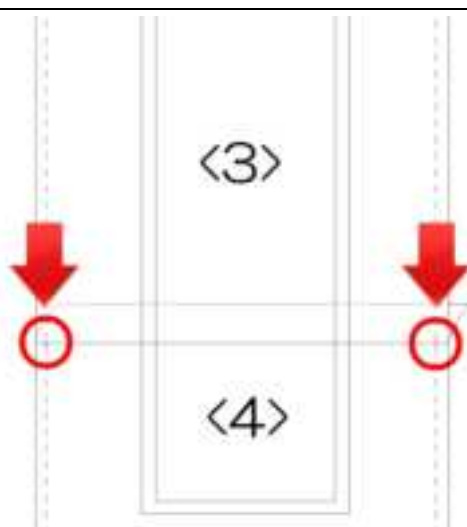
- ② <1>の型紙に記載されている通りに
型紙を並べる。
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。



- ③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

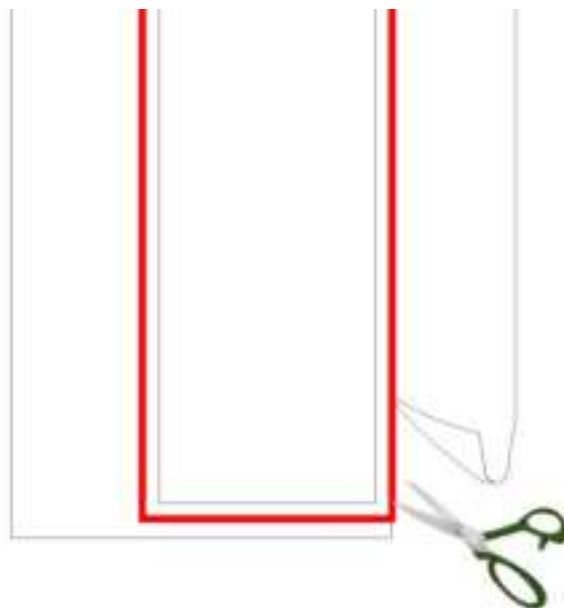


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



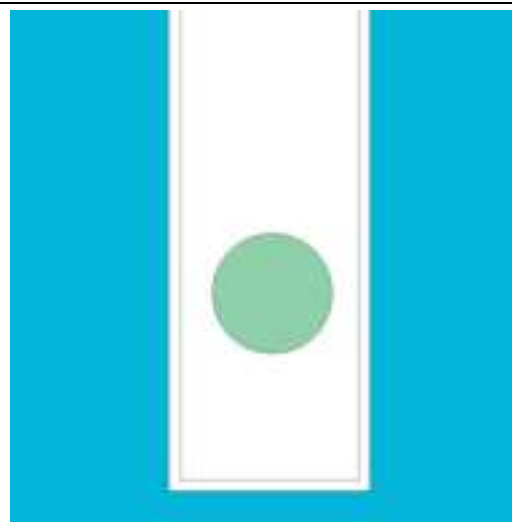
02. 型紙を切り取る。

02～07の右図は全型紙共通で使用
しています。



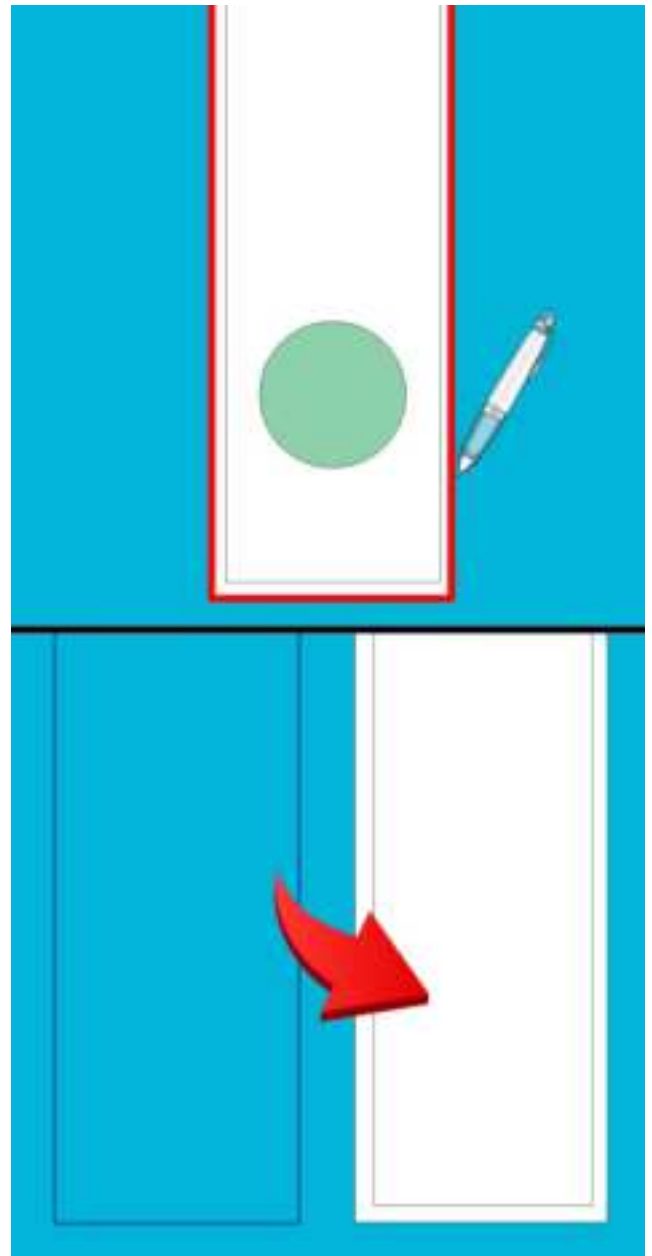
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動
かない様にする。

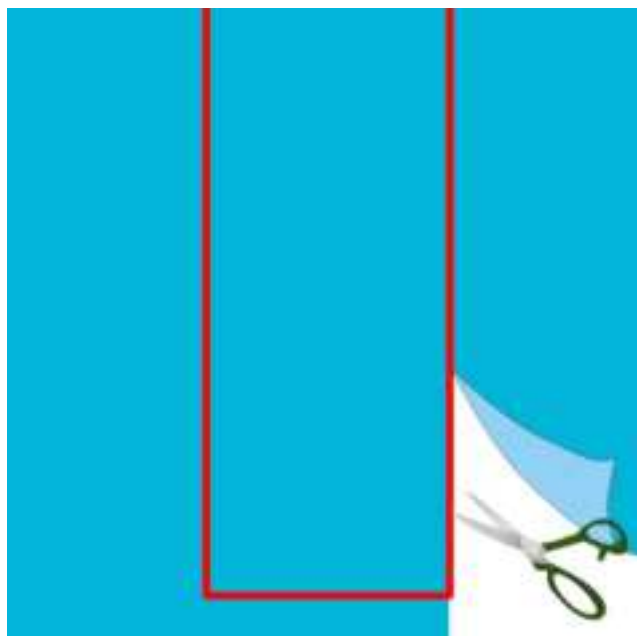


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
 - ・クロバー 水性チャコペン

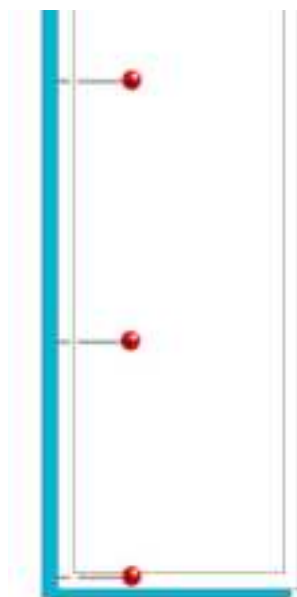


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

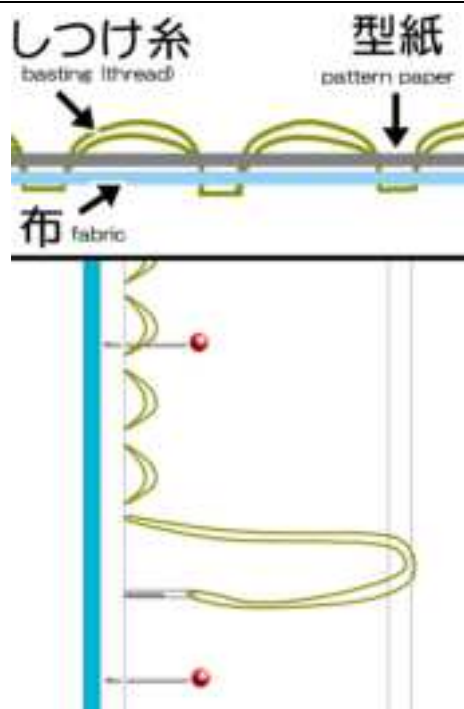
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

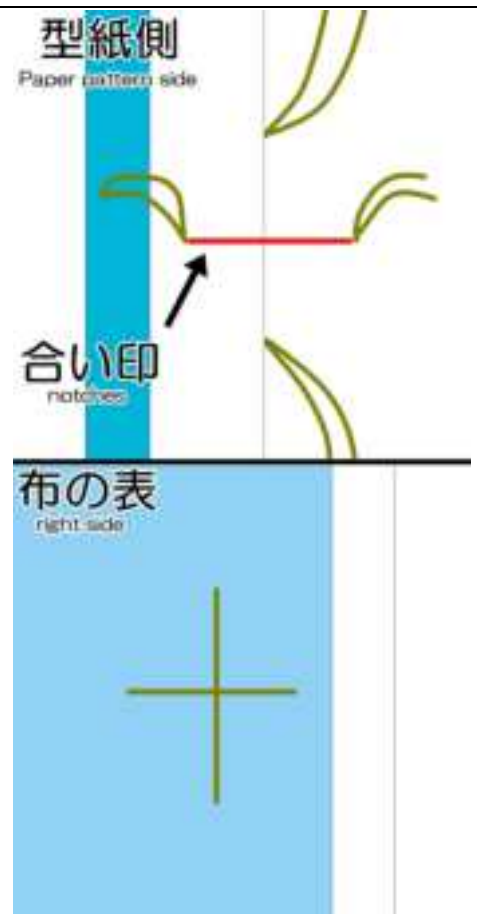
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても
良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

[糸を抜き取らない様に注意。]



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



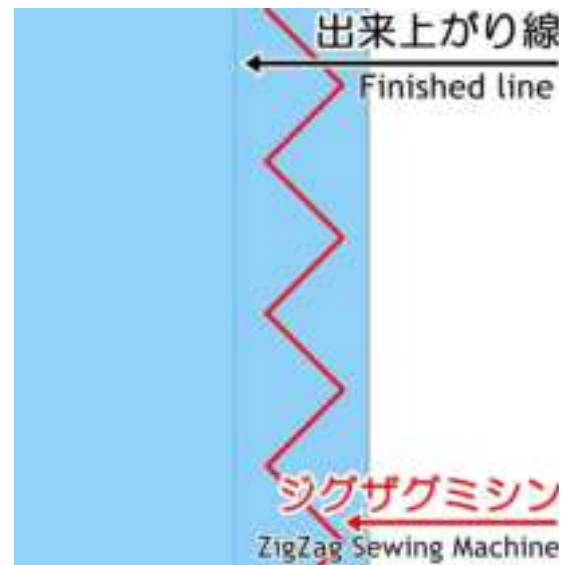
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



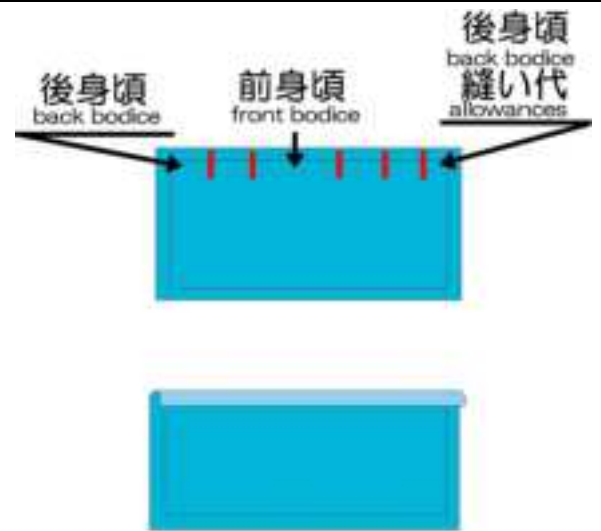
09. 後身頃 A,B の面ファスナー側と、
左右の袖口にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 🌀 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
- 布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

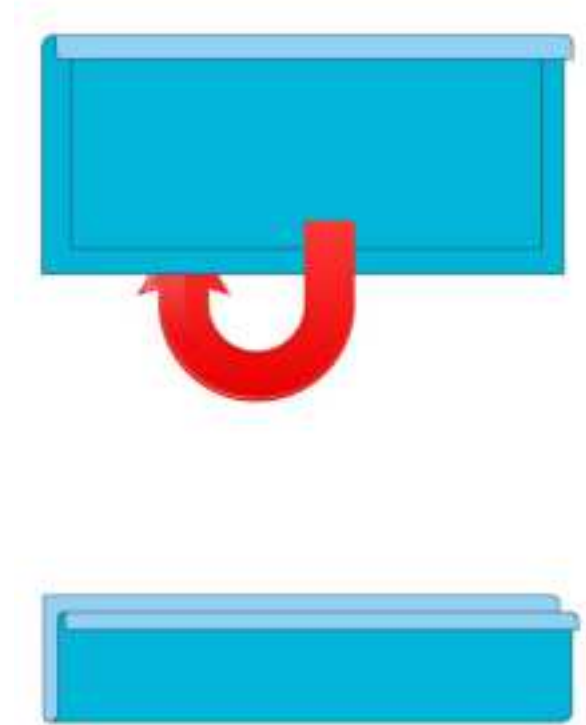




10. 襟の片方の縫い代を折ってアイロンで癖をつける。
 [襟の型紙に「折る」と書いてある線のみを折る。




11. 襟の表が内側になる様に真ん中で折る。



12. 襟の両端を待ち針でとめる。
〔 反対側も同じようにとめる。〕



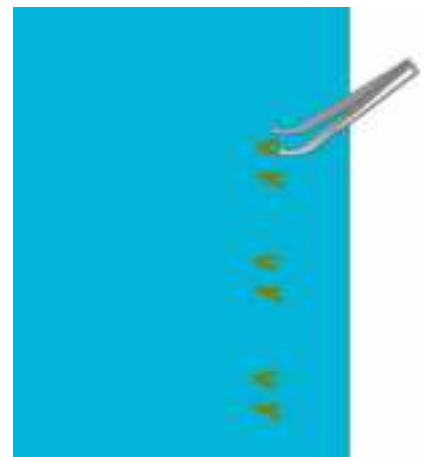
13. 12で待ち針をとめたところを縫う。

〔  家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
反対側も同じように縫う。〕



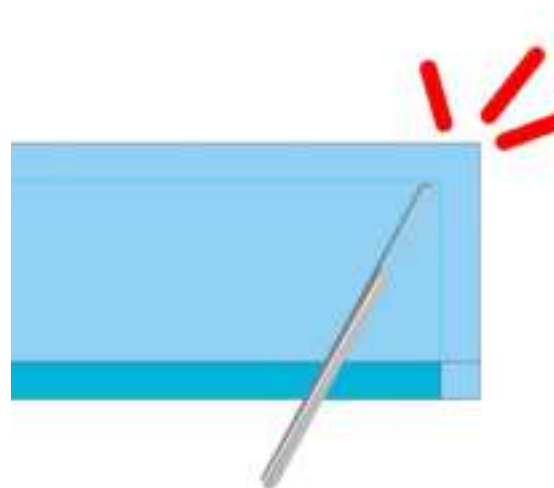
14. 13で縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔 しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

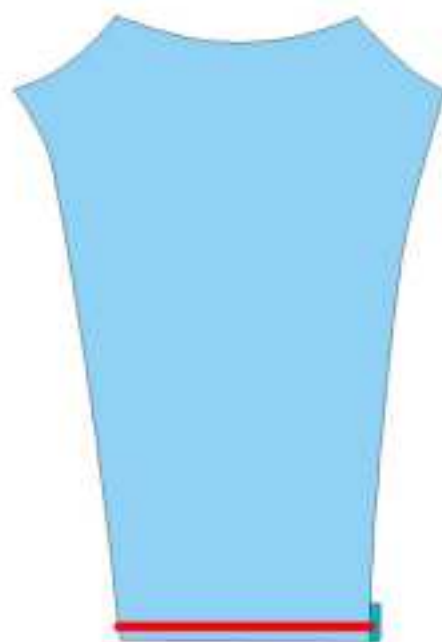


15. 14 をひっくり返して、太い針の“糸を通す方”
で角を優しく押し出す。

布団針等の太い針を使う。
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”
などでも代用出来る。
あくまでも優しく内側から押して角を出す。
強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し
布が傷む可能性も。
反対側も同じように角を出す。

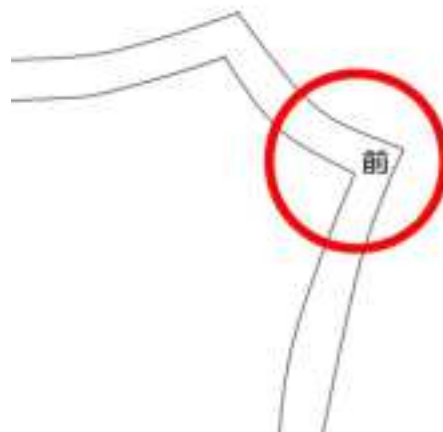


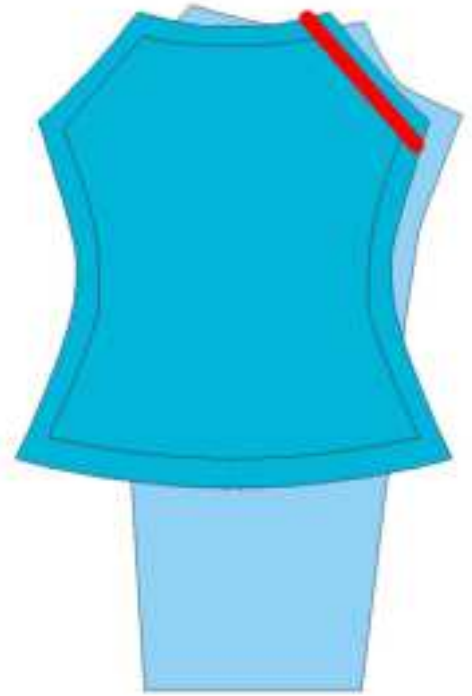
16. 左右の袖口を出来上がり線で折って縫う。



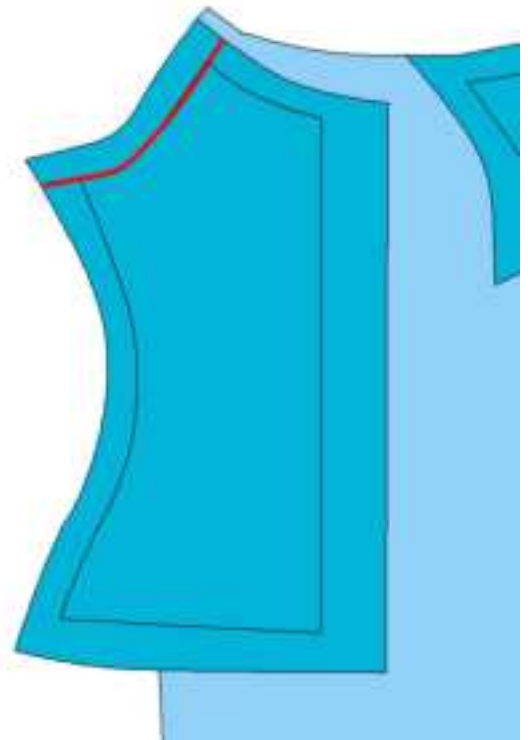
17. 表が内側になる様に、前身頃と袖を合わせて縫う。

左右の袖を間違えない様に注意。
袖の型紙に「前」と書いてある方を前身頃と合わせる。
両袖を前身頃と合わせて縫う。

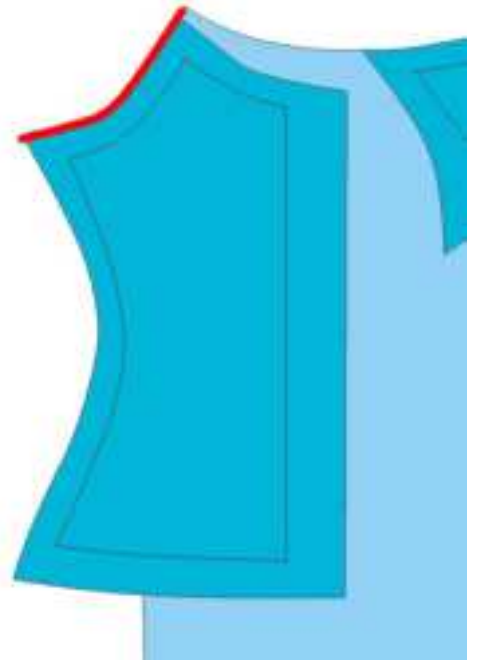
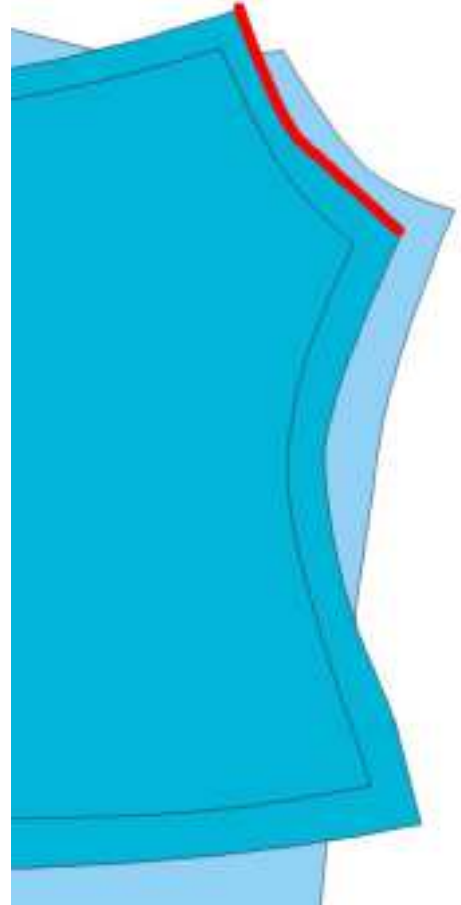




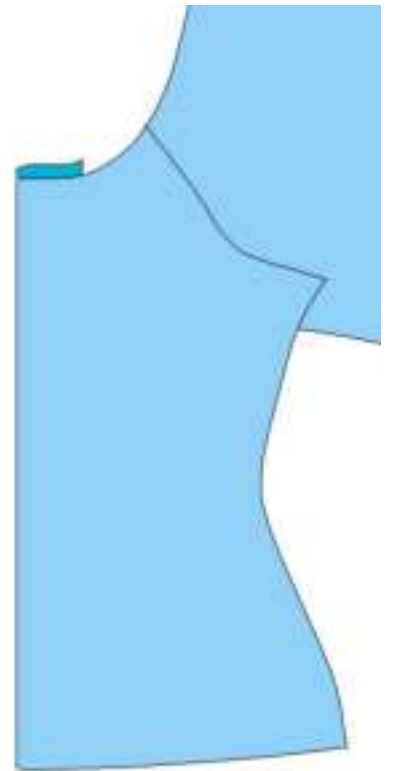
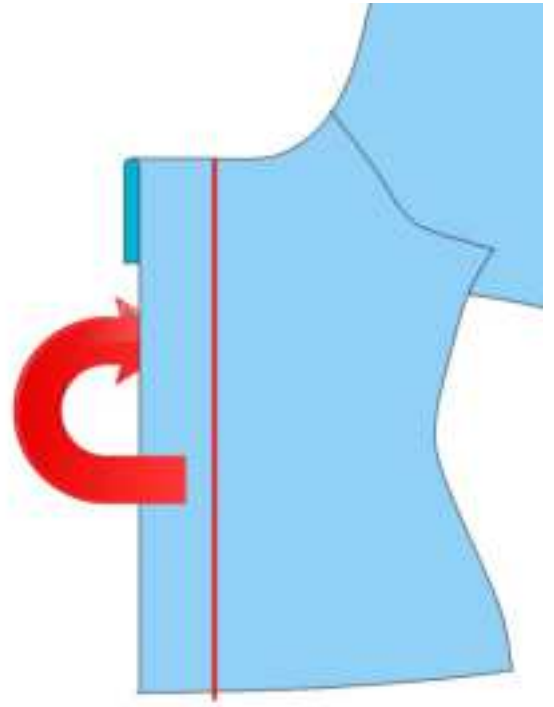
-
18. 表が内側になる様に、後身頃 A と右袖を合わせて縫う。
〔 後身頃 B と左袖も同じように縫う。〕

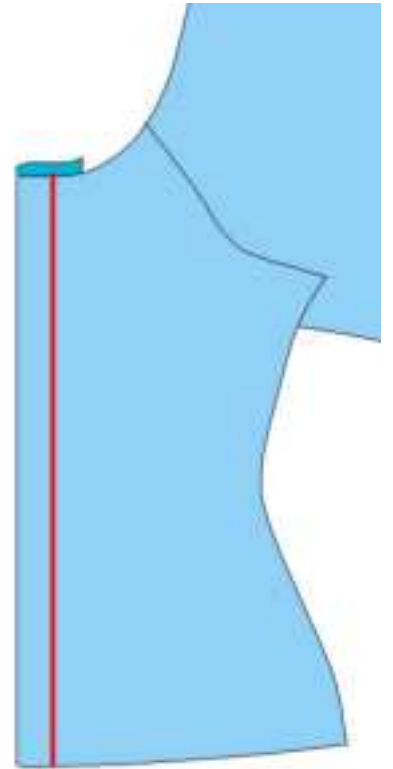


19. 身頃と袖の縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕

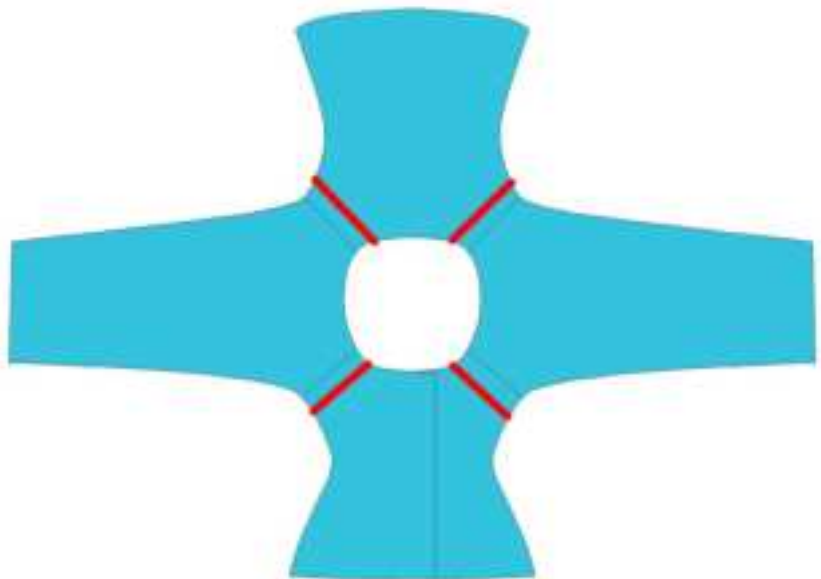


20. 後身頃 A,B の面ファスナー側の縫い代を折って、
出来上がり線から 0.7cm くらいのところを縫う。





21. 縫い代を身頃側に倒す。



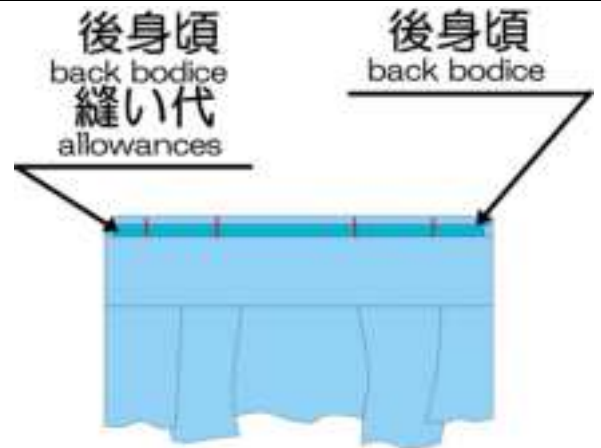
横から見た時

side view

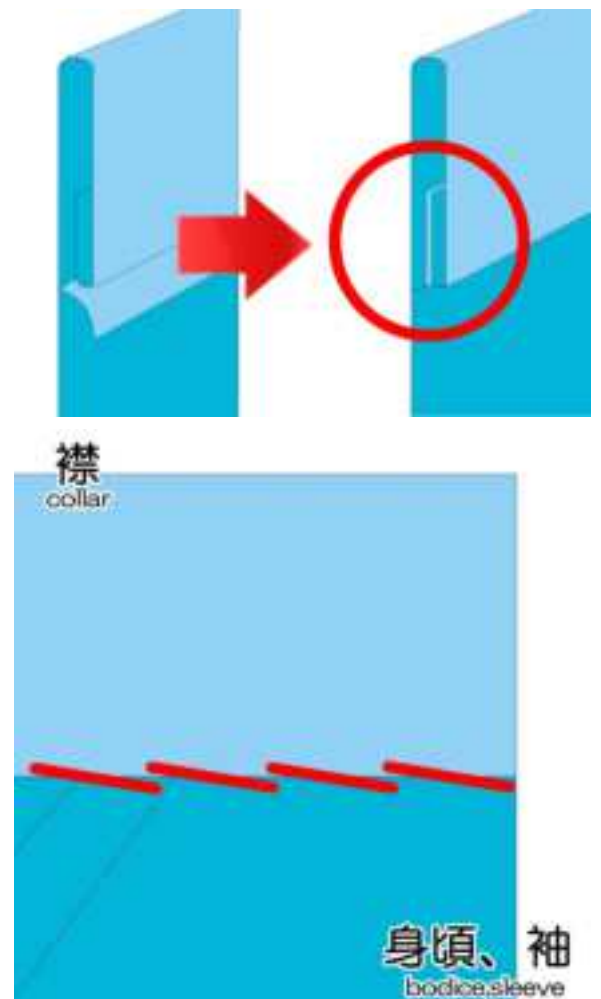


22. 表が内側になる様に、
身頃 CF と襟 CF を基準にして合わせて縫う。

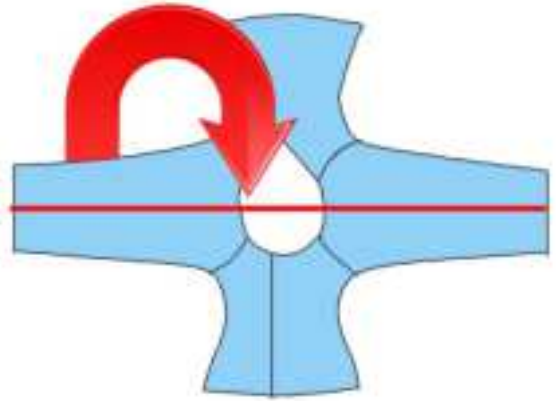
- 〔 待ち針では縫いずれてしまう場合、しつけ糸でしつけをする。〕
- 〔 しつけした時は、最後にしつけ糸を抜く事を忘れずに。〕



23. 身頃と袖の縫い代を襟の中に入れてまつり縫いでとじる。



24. 表が内側になるように、左右の袖の真ん中で折る。



25. 前身頃と後身頃の W を合わせ、
左右の袖口から裾までを縫う。

〔 W:ウエスト。
縫い終わったらしつけ糸を抜く。〕



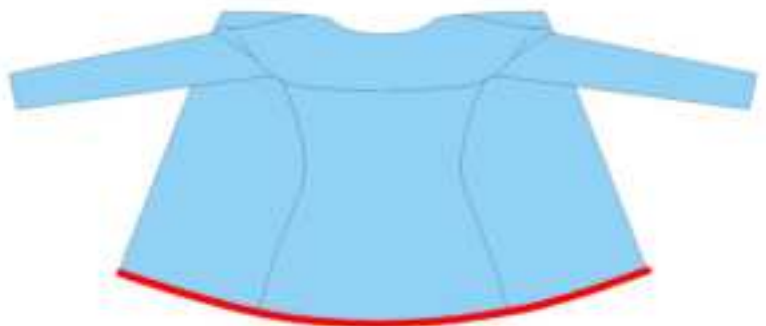
26. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



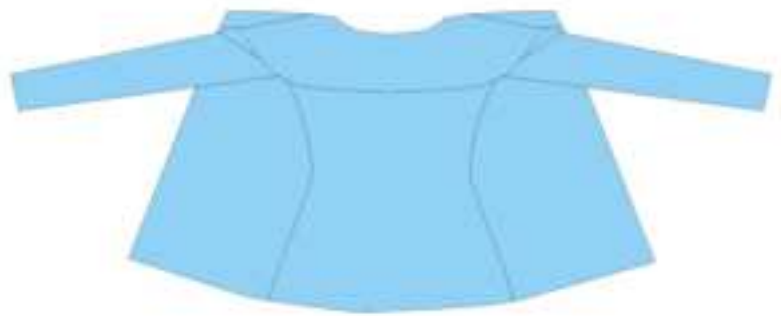
27. 表に返す。

28. 裾をロックミシンか
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

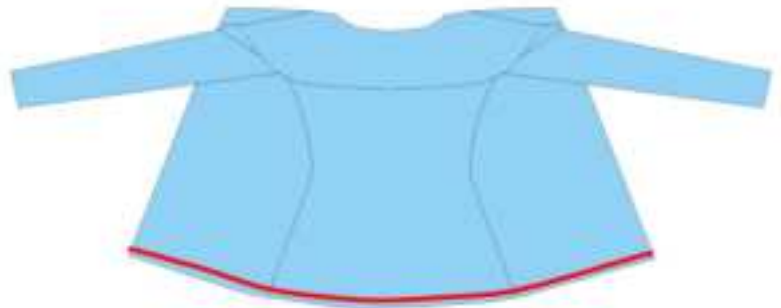
〔 縫い代は後身頃に倒す。〕



29. 出来上がり線で折る。



30. 縁を縫う。

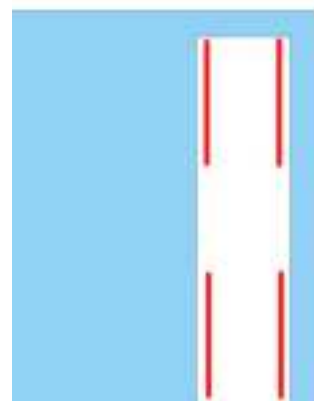
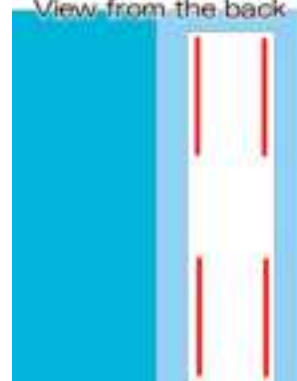


31. 表から見て、後身頃左側が下になる様に面ファスナーを仮縫いでとめる。



裏から見た時

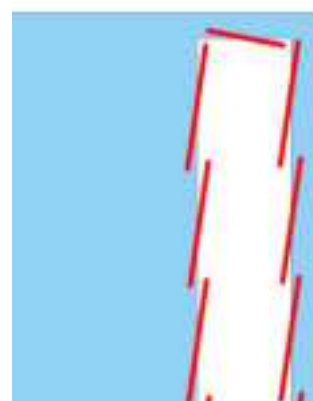
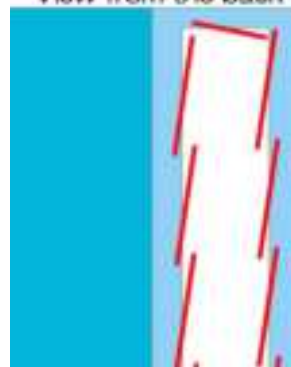
View from the back



-
32. 仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫いか
ミシンで縫い付ける。

裏から見た時

View from the back



お疲れ様でした！